

「鳥取県中部地域公共交通網形成計画」評価指標数値

目標 評価指標	H28年度 (計画策定時)	H29年度	H30年度 (現状値)	R6年度 (目標値)	算出根拠	算出方法
目標 1 移動利便性の向上	8.5	8.1	8.2	8.5	(H30年度) 845,977人÷103,361人=8.2 (H29年度) 848,751人÷104,464人=8.1 (H28年度) 899,000人÷105,547人=8.5	○1人当たりの年間利用回数 ○当該年度の一般乗合バス年間輸送人員÷当該年度の地域人口 ○年間輸送人員はバス事業者からの資料提供、地域人口は各自治体の住民基本台帳人口の地域合計から算定
指標 1 バス年間利用回数						
目標 2 乗り換え抵抗の低減化	21% (4/19箇所)	26.3% (5/19箇所)	42.1% (8/19箇所)	100% (19/19箇所)	(H30年度) 3箇所：宇谷東口、田後、石脇車庫(上り) (湯梨浜町) (H29年度) 1箇所：今西(倉吉市) (H28年度) 4箇所：ハツ屋(下り)、総合事務所(下り) (倉吉市)、泊駅前、石脇車庫(下り)(湯梨浜町)	○整備が必要なバス停に対し当該年度までに整備が完了した割合 ○各自治体の公共交通担当課で把握
指標 2 バス停環境整備箇所数						
目標 3 バス利用の促進	9.5%	9.5%	8.5%	10.0%	(H30年度) 225人÷2,646人=8.5% (H29年度) 241人÷2,550人=9.5%	○本地域内9校の高校のバス通学生徒数÷総生徒数 (スクールバスを除く) ○県教育委員会からの数値提供により把握
指標 3 バス通学生割合						
目標 4 情報提供の強化	累計4,000部	累計4,500部	累計9,500部	累計20,000部	(H30年度) 中部地域バスマップ 5,000部作成・配布 ・県市町、バス事業者で交通結節点となる駅やバスターミナル、公共施設、観光施設等へ設置した。 ・観光客や各施設からも好評を得ており、湯遊2デーパスと合わせて配布するなど在庫はほぼない状況。	○本地域内で配布した時刻表・バスマップ等の配布枚数の累計 ○各自治体の公共交通担当課で把握
指標 4 バスマップの配布枚数						
目標 5 効率的な運行の実現	47.7%	43.4%	40.3%	50.0%	(H30年度) 188,560千円÷468,139千円=40.3% (H29年度) 196,684千円÷453,509千円=43.4% (H28年度) 202,995千円÷425,825千円=47.7%	○算定式：(一般乗合バス) 経常収入÷経常経費 ○バス事業者からの資料提供、自治体の公共交通担当課での把握
指標 5 一般乗合バスの収支率						
目標 6 路線維持のしくみづくり	各自治体 1回掲載/年	平均1.2回/年 6回(5自治体)	平均1.4回/年 7回(5自治体)	各自治体 累計5回	(H30年度) 計7回：倉吉市2回、三朝町1回、湯梨浜町2回、琴浦町1回、北栄町1回 ・バスの日PR、高齢者定期商品紹介など ※資料参照	○本地域内各自治体の広報紙への年間掲載回数の累計 ○各自治体の公共交通担当課で把握する
指標 6 広報紙によるPR回数						